

令和2年8月25日

第2回

緑の基本計画改定委員会

スケジュール

■ 改定委員会 (全5回予定)

R2.3

改定委員会①

- ・趣旨説明, 施策ごとの状況確認
- ・改定手順の確認

R2.8

改定委員会②:今回

- ・課題整理, 見直し方針

R2.10

改定委員会③

- ・計画骨子・概要

R2.11

改定委員会④

- ・施策内容(都市マスとの調整)

R3.2

改定委員会⑤

- ・計画内容案の確定

R3.3以降 とりまとめ作業

第1回改定委員会 意見まとめ

■ 公園、緑の課題

- 使われていない公園の再生
- 公園間の役割分担
- 公園の偏在
- 維持管理面の重視（落ち葉等）

■ 緑化施策

- 住宅の緑をオープンに
- 空き地・駐車場の緑化検討

■ 公園利用

- 大人は線的，子どもはスポット的に利用
- 公園の利用頻度，利用目的を把握する

■ 視点・留意点

- 協働を強く意識，自分事と捉えてもらう
- 多様な少数意見の受け入れ
- 質の重視への転換，維持管理の重視

■ 上位関連計画

- 総合計画との整合性，関連計画との連携

■ 体制づくり

- 地域単位で課題解決できる体制づくり（ボール遊び，犬のフンと看板乱立）
- 地域で望む公園の姿を集約する

■ 緑の機能紹介

- 存在価値，利用価値，媒介効果の紹介
- 緑の防災機能の紹介

■ 芦屋らしさの具体的な表現

- 六甲山に見える地形と景観
- 緑を気品・知性で表現しない

■ 情報発信

- 先駆的な事例紹介（宮塚公園など）
- 年代に応じた公園の使い方を紹介

課題の整理

① 現計画の評価と課題

- ・ 緑被率調査の結果，分析
- ・ 現計画期間中の主な取り組みの検証

② 人口減少・少子高齢社会への対応

③ 庭園都市としての魅力の更なる向上

- ・ 人口減少と少子高齢社会の進展を踏まえた，成長を前提とする
緑地政策についての再検討
- ・ 第5次総合計画との整合

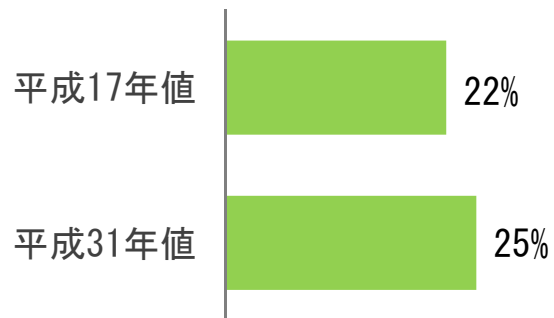
④ 市民ニーズへの対応

- ・ アンケート調査の結果，分析

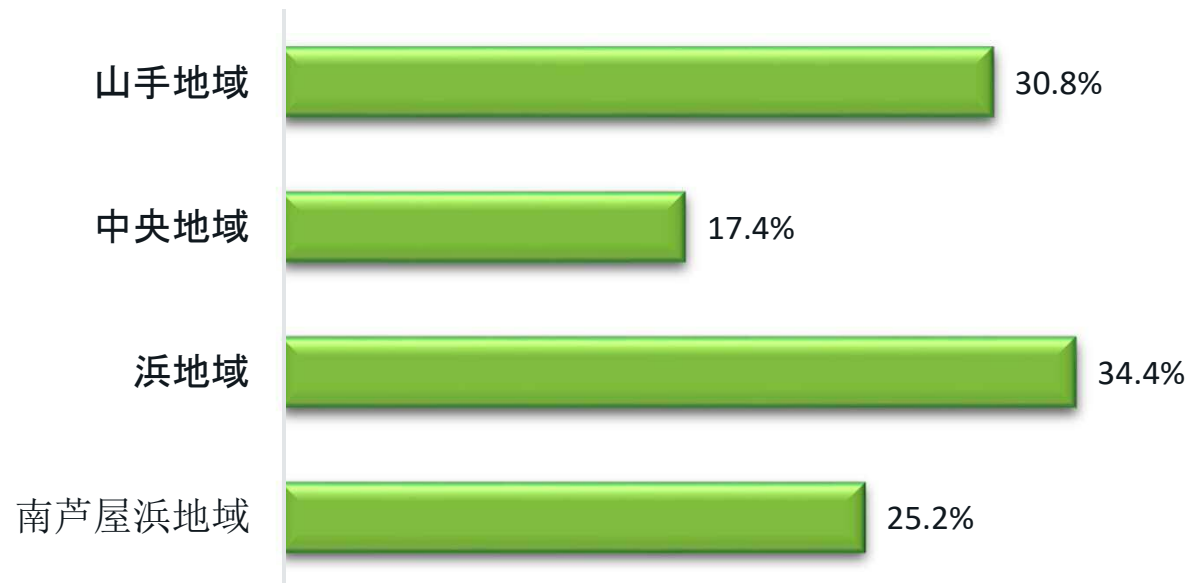
①現計画の評価と課題

■ 緑被率調査の結果, 分析

緑被率の推移



平成31年 地域別緑被率 (%)



①現計画の評価と課題

■ 緑被率調査の結果, 分析

市民・事業者の緑の目標値

山手・中央・浜地域	19ha増加
南芦屋浜地域	11ha増加

調査結果

平成17年調査時	135.15ha
平成31年調査時	172.04ha

合計で30ha増加

→

36.89ha増加

公共の緑の目標値

都市公園 24ha増加

→

調査結果

緑被地10ha（公園面積24ha）増加

公共施設 6ha増加

→

14ha減少

①現計画の評価と課題

■現計画期間中の主な取り組みの検証

- ・「環境」に関する取り組み

取り組み：公園樹，街路樹の整備，住宅地の緑の保全
森林，河川環境の保全，生物多様性の保全

課題：街路樹等の計画的な更新
緑量増への取り組みの限界
地域の特性，ニーズに応じた緑の整備や保全

- ・「レクリエーション」に関する取り組み

取り組み：公園緑地の整備
緑化活動の充実

課題：施設の老朽化
高齢化等緑化活動の担い手の不足

①現計画の評価と課題

■現計画期間中の主な取り組みの検証

- ・「防災」に関する取り組み

取り組み：避難地，避難経路の機能強化（緑化）
国道沿いや急傾斜地等における緑化の推進

課題：街路樹等の防災機能の強化
国，県等関係機関との連携

- ・「景観」に関する取り組み

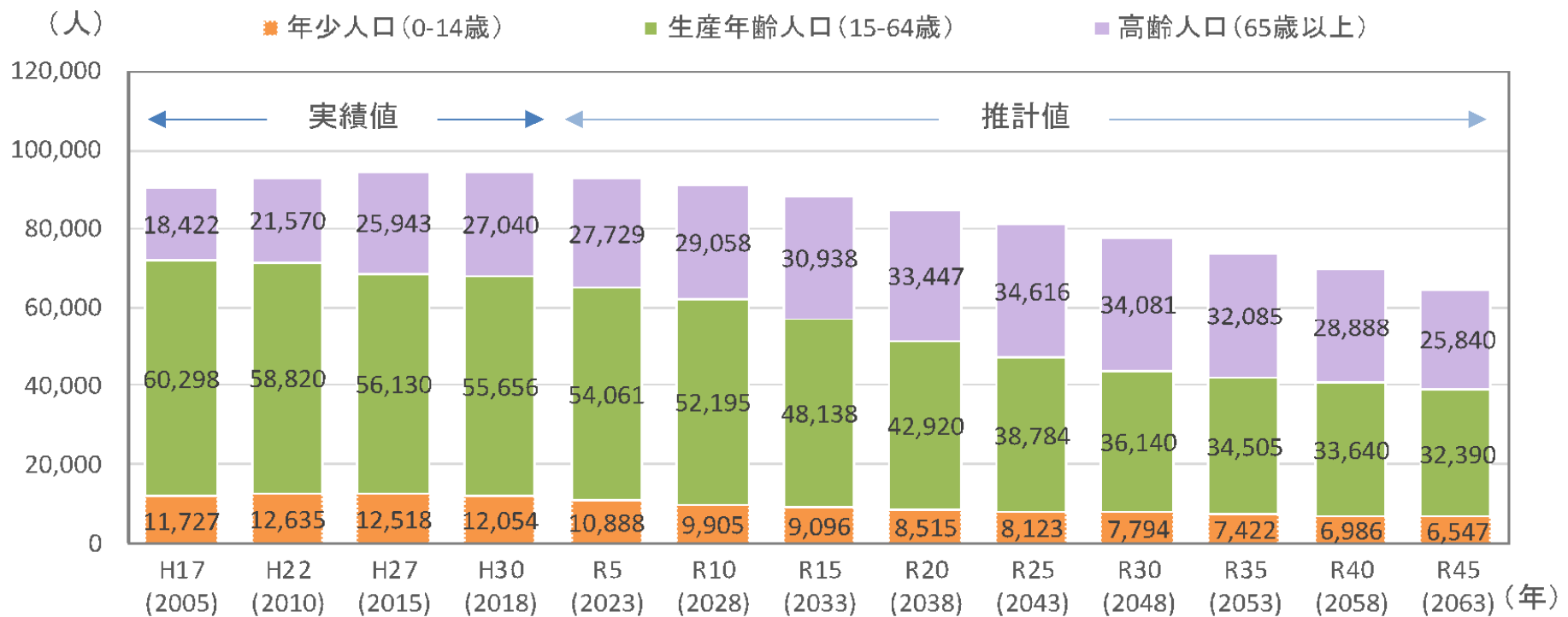
取り組み：住宅地の景観（緑地）保全
街路樹の整備と保全

課題：住宅地の景観（緑地）保全の継続
地域の特性，ニーズに応じた街路樹の整備，保全

②人口減少・少子高齢社会への対応

③庭園都市としての魅力の更なる向上

■人口減少



②人口減少・少子高齢社会への対応

③庭園都市としての魅力の更なる向上

■第5次総合計画との整合(計画の抜粋)

- ・まちづくりの主な課題

人口減少, 少子高齢化を前提としたまちづくり
地域の価値の持続的・発展的継承
まちづくりへの市民・事業者の参加と協働
市外地域との広域的連携の推進

- ・基本方針

未来の創造～持続可能な心弾むまちを未来へつなぐデザイン
人のつながり
暮らしやすさ
資源

②人口減少・少子高齢社会への対応

③庭園都市としての魅力の更なる向上

■第5次総合計画との整合(計画の抜粋)

・施策目標

- 1 誰もが安心して生み育てられる環境が充実している
- 2 未来への道を切り拓く力が育っている
- 3 生涯を通じた学びの文化が醸成されている
- 4 あらゆる人が心地よく暮らせるまちづくりが進んでいる
- 5 健康になるまちづくりが進んでいる
- 6 良好な生活環境が整い魅力的な暮らしが創出されている
- 7 災害に強いまちづくりがすすんでいる
- 8 日常の安全安心が確保されている
- 9 住宅都市の魅力が受け継がれ、高められている
- 10 持続可能なインフラ整備が進んでいる
- 11 協働の意欲が高まり市民主体のまちづくりが進んでいる
- 12 人口減少社会に対応した健全で効果的な行財政運営が行われている
- 13 急速な社会変化に対応できる組織になっている

④ 市民ニーズへの対応

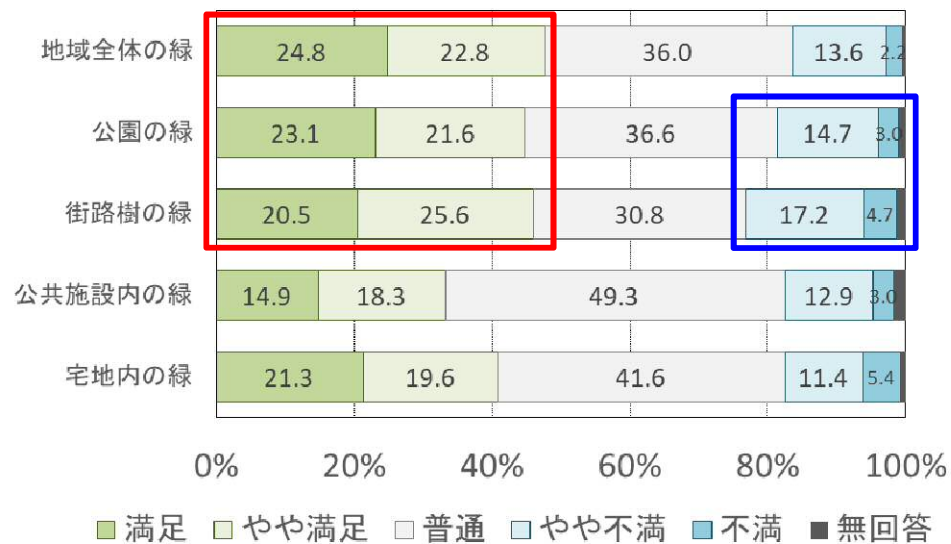
■アンケート調査の結果, 分析

- ・量・質とも評価の高い緑：「地域全体」「公園」「街路樹」
- ・量の評価に比べ、質の評価が低下する緑：「公園」「街路樹」
- ・質の評価に比べ、量の評価が低下する緑：「公共施設内の緑」「宅地内の緑」

緑の「量」



緑の「質」

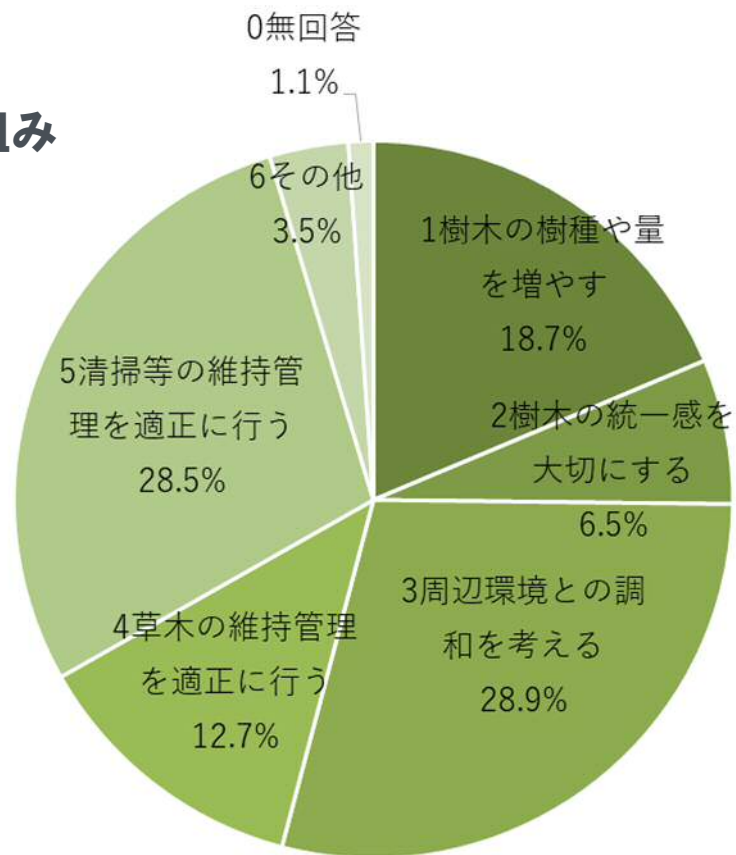


④ 市民ニーズへの対応

■アンケート調査の結果, 分析

- ・重視する取り組み：「周辺環境との調和」「清掃等の維持管理」
※ 樹木の種類や量を増やす ≠ 質の向上

質を向上するための取り組み

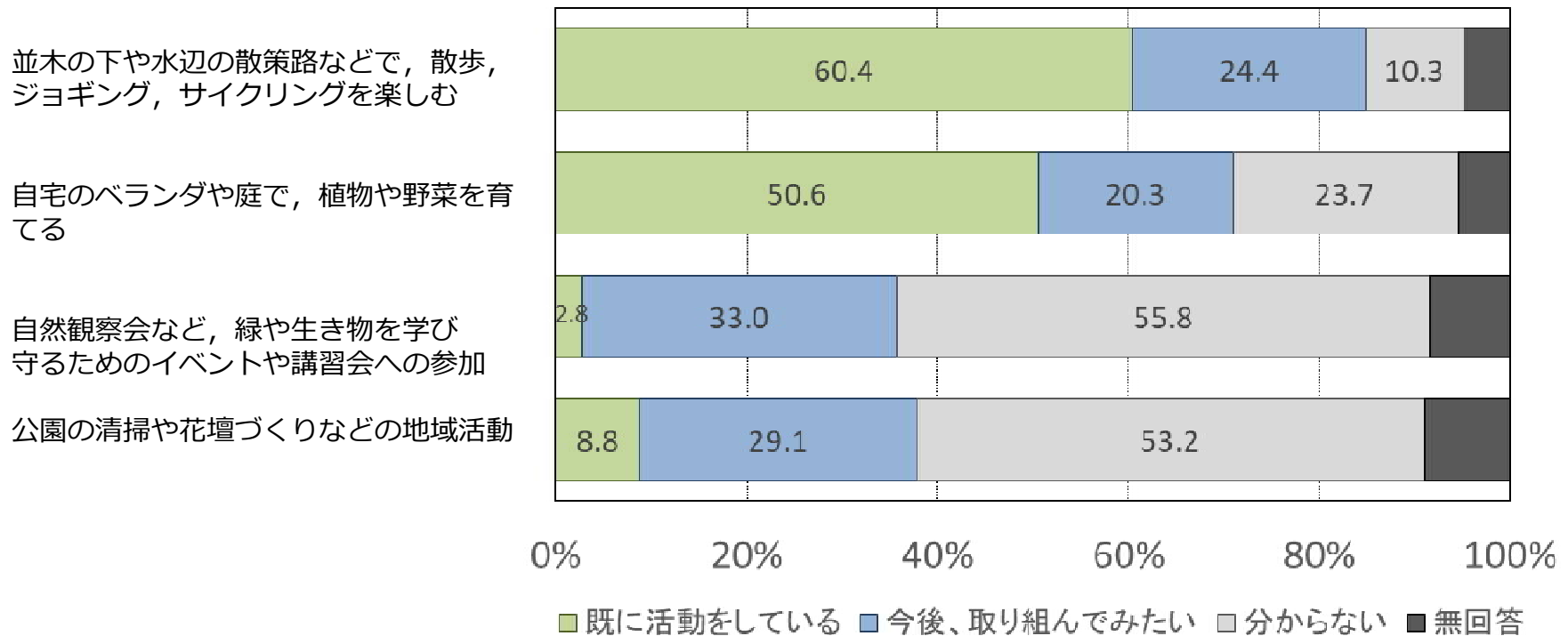


④ 市民ニーズへの対応

■アンケート調査の結果、分析

- ・既に活動している：「散歩，ジョギング，サイクリングを楽しむ」「植物や野菜を育てる」
- ・今後取り組みたい：「イベントや講習会への参加」「公園の清掃や花壇づくりなどの地域活動」

緑に親しむ，または守る活動

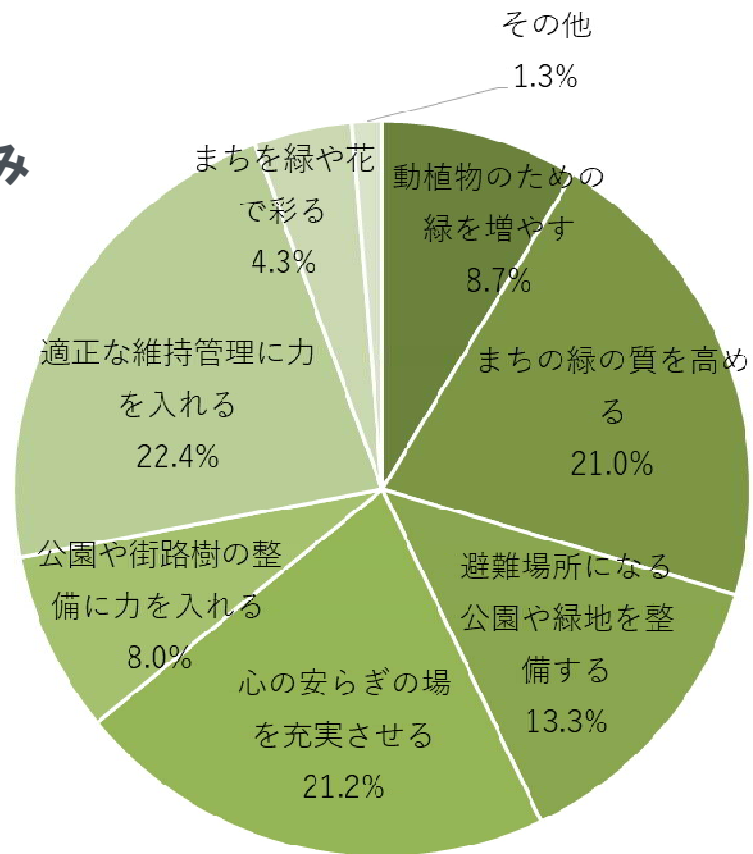


④ 市民ニーズへの対応

■アンケート調査の結果, 分析

- ・重視すべきもの：「適正な維持管理」「安らぎの場充実」「緑の質を高める」

重視される取り組み

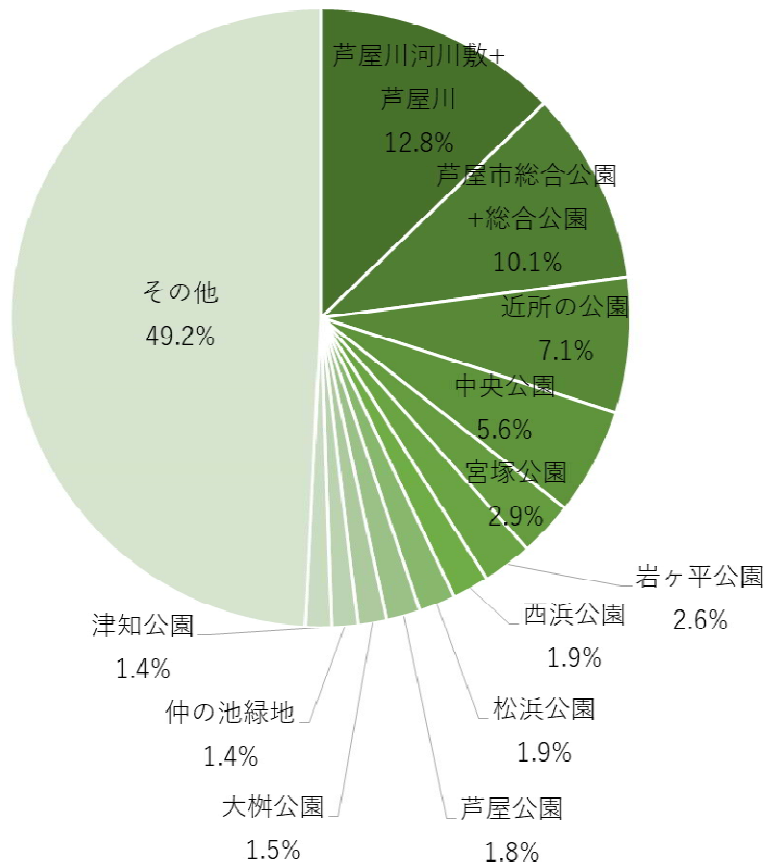


④ 市民ニーズへの対応

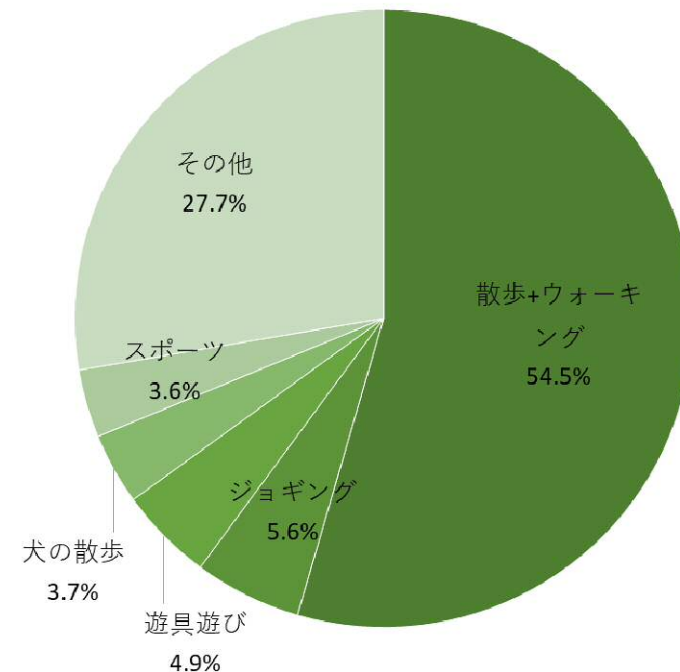
■アンケート調査の結果、分析

- ・ 良く利用する公園，緑地：「芦屋川河川敷」「総合公園」
- ・ 利用目的：健康づくり「散歩＋ウォーキング」「ジョギング」「遊具遊び」

良く利用する公園



利用する目的



改定計画のイメージ

現計画

序章 緑の基本計画の策定	1
第1章 芦屋市の特性とまちづくりの方向	2
第2章 緑の現況と評価	3
1 市全体の現況と評価	3
2 地域別の現況と評価	5
第3章 緑の将来像	8
1 計画の理念とテーマ	8
2 緑の確保方針	9
3 緑の目標量	19
第4章 計画を実現するために	21
1 芦屋らしい緑を守る	21
2 芦屋らしい緑を創る	23
3 芦屋らしい緑を育てる	24
4 地域別の緑化の推進	25
5 計画の推進の取り組み	26
第5章 緑化重点地区	30
1 南芦屋浜地区緑化重点地区	31
2 JR芦屋・阪神芦屋駅エリア地区緑化重点地区	33
資料編	35

改定計画のイメージ

計画の意味合いやまちづくりの方向性を示します。

「①現計画の評価と課題」「④市民ニーズへの対応」を踏まえ、現状の評価を行います。

「②人口減少社会・少子高齢社会への対応」「③庭園都市としての魅力の更なる向上」を踏まえ、緑の将来像(緑の量や質に対する考え方)を描きます。
その際、計画の柱(現計画では「環境」「レクリエーション」「防災」「景観」)を定めます。

上記を踏まえ、緑の将来像に向けて具体的な取り組みを記載します。
公園・街路樹・宅地内など内容別の施策、地域別の施策、実施主体や協働についての考え方、今後の評価方法などを示します。